



「主体的な学び」

興味・関心, 見通し, 振り返り

★単元の学習計画を, 児童生徒と共有しましょう。

- 単元の学習計画を児童生徒と共有し, 単元終了後にどんなことができるようになるのかを示し, 児童生徒に見通しを持たせましょう。

★「解いてみたい」「考えてみたい」学習課題を設定しましょう。

- 日常生活と関連がある学習課題や, 不思議さや驚きのある学習課題, 何とか解けそうだと思う学習課題などを設定し, 児童生徒の興味・関心を高めましょう。

★児童生徒が分かったことやできるようになったことを, 自分の言葉で振り返る時間を確保しましょう。

- ノートや振り返りカードに, 分かったことやできるようになったことを書く習慣を付けることで, 学びの自覚を促しましょう。

★日常生活や次の単元, 他の教科に役立つことに気付かせましょう。

- 分かったことやできるようになったことが, 様々な場面で役立つことに気付かせ, 児童生徒の学習に対する意欲を高めましょう。

★児童生徒の学びや成長を認め, 励ましましょう。

- 分かったことやできるようになったことを実感させ, 認め, 励まし「もっと考えたい」「調べたい」という意欲を高めましょう。



「対話的な学び」

明確な目的のある交流

★対話の前に, 自分の考えを書く時間を設定しましょう。

- 自分の考えをノートなどに書かせ, 児童生徒一人一人が自分の考えを持って話し合いに参加できるようにしましょう。

★自分の考えとその根拠, 理由を示して話し合わせましょう。

- 考えと理由を色分けした付箋に記入させるなどの工夫を行い, 根拠を明らかにして話し合わせるようにしましょう。

★目的に応じて, 話し合う人数や形態を工夫しましょう。

- グループで話し合い, その後ほかのグループと意見を交流したり, 課題を早く終えたペアで考えを交流したりするなど, 目的に応じて話し合う活動を設定しましょう。

★児童生徒の交流では, 自分の考えを分かりやすく伝える工夫を取り入れましょう。

- 自分が書いたものと見比べさせたり, 図や表と言葉を関連させたりするなど, 分かりやすく説明をさせましょう。

★相手の意見を聞き, 受け止める姿勢を育てましょう。

- うなずきながら聞くことで, 話し手は安心して意見を言うことができます。学級全員で学ぶ雰囲気づくりを大切にしましょう。

★新たに気付いた考えは, 赤ペンや青ペンで書き加えさせましょう。

- 自分の考えと友達の考えを分けて書かせ, 自分の考えを見直すための材料にさせましょう。



「深い学び」

思考・判断・表現, 「見方・考え方」

★児童生徒の交流を次の学習活動につなげるための手立てを工夫しましょう。

- ほかのグループやクラス全員と考えを共有できるように交流場面を設定したり, 交流内容を深める発問をしたりすることで, 児童生徒に新たな考えを生み出させるようにしましょう。

★交流後, 自分の考えを見直して表現させましょう。

- 友達との交流を通して, 「見方・考え方」を働かせて自分の考えを形成し, 表現させ, 児童生徒に学びの深まりを実感させましょう。

★児童生徒の間違った答えを生かしましょう。

- 「どうして間違えたのか」「どうしたら正しくなるのか」など, 誤答を生かして学ばせることで, 児童生徒の理解をより確かなものにしていきましょう。

★考えの変容や新しい気づきを共有する場面を設定しましょう。

- 学習を振り返らせ, 自分の考えが変容したことに気付かせることで, 児童生徒に学びの深まりを実感させましょう。